



みんなが過ごす場所の真ん中に薪ストーブ。階段室をハニカムサーモスクリーンで区切ること、朝、リビングダイニングを温めたい時に効率よくできる。リビングから連続する広めの縁側は、花粉の時期、降灰時の物干しスペースやご主人の書斎スペースとして多目的に使える

Family Voice



自然に負担をかけない生活を目指します。お菓子作りや料理にも興味があるので、オール電化ではなく、太陽熱パネルを利用したガス給湯器を採用しました。シャワーをよく使う運動部所属の子供たちがいる我が家にはぴったりです。ガス代を気にすることなくたっぷりのお湯が使えます。

施工会社メッセージ

これまで取り組んで来たパッシブデザインの家づくりがOM協会も所属するパッシブデザイン協議会主催の全国規模のコンテストで、今年度住宅部門の最高賞を受賞することができました。これからも、住まい手の方々と、鹿児島県の風土に合った生活スタイルを考えながら、これからのエネルギーのあり方と環境に負荷をかけない住まいを提案していきます。



建築工房 自然木(じねんもく) 取締役 村田 義弘さん

建築工房 自然木(じねんもく)

【所在地】鹿児島市永吉2丁目29-3
 【建設業許可番号】鹿児島県知事許可(般-25)第14664号
 【取扱業務】注文住宅、リフォーム、店舗、マンション、ウッドデッキ等ガーデンリフォーム、植栽工事、古民家再生
 【取扱工法】木造軸組在来工法、コンクリート木造軸組混構造、RC造、鉄骨造

本実例をもっと知りたい方、
 施工会社へのお問い合わせ先
TEL099-812-5701
<http://homepage2.nifty.com/jinenmoku/>
E-mail:jinenmoku@nifty.com
 「かごしま家づくりの本を見た!」とお問い合わせください。

自然とともに心地よく暮らすための工夫も満載
 S邸が建つのは見晴らしのいい高台で、日当たりも良く、裏山からは心地よい風が吹く。桜島が見える景観を生かしながら、冬の日射が部屋の奥まで届く窓の大きさと、夏の陽射しを窓面に絶対当たらない工夫をシミュレーションし、窓の位置と庇の出を調整。夜間の自然通風を確保するために、ガラリ付雨戸を採用しているが、夏の日射遮蔽効果も大きいそうだ。さらに、サッシの内側にハニカムサーモスクリーンを採用し、冬、昼間取り込んだ暖かさを夜間逃がさない。同じ設計で先に竣工した「始良の家」では、夜、空調機はもちろん、薪ストーブもほとんど使わないそうだ。ちなみに「始良の家」は今年度、パッシブデザイン協議会が主催した全国規模のコンテストで、住宅部門の最高賞を受賞。機能や性能が高いレベルであることを証明している。今回の1階だけで暮らせる加齢配慮の間取りは、毎日の暮らしやすさを重視。玄関からトイレ、洗面脱衣室に抜ける動線など、一筆書きの生活動線は、突き当たることがない。家事も効率よく出来そうだ。



2階は子ども部屋のみ。桜島が見える大きめの窓に、出窓を利用したベンチを設置。冬の日射取得を考慮した形状



玄関からトイレの中を通って洗面・脱衣室へ抜ける動線。やわらかな思考がもたらす間取りは、自由で楽しい。両側にドアがあることで、トイレでの介護などがしやすいメリットも



和室とLDKが外でつながるウッドデッキ。手摺を兼ねたベンチは眺めを楽しむにも便利。透明の庇は冬場の採光に活躍。夏はヨシズ・スタレを使って窓に陽を当てない



和室は寝室を兼ねているのでシンプルに。写真左に見えるのが、断熱性の高いハニカムサーモスクリーン。窓辺の熱の出入りを防ぐため、外気の影響を受けにくい



ワンフロアで開放感たっぷりのLDK。薪ストーブや無垢の床板など、見るからに居心地がよさそう。いつの間にか家族が居間に集まるというご主人の話も聞ける



緑が残る高台の立地を生かし、コンパクトかつ機能的なデザインに。軒や庇の長さは、年間を通したシミュレーションで、冬の太陽熱の取り入れと、夏の日射遮蔽を綿密に検討。夏は、スタレやガラリ付雨戸を利用してどの方向の窓にも日射を当てない工夫が

自然エネルギーを上手に生かす パッシブデザインの家で暮らす

建築工房 自然木(じねんもく)

- 木造軸組在来工法 ●鹿児島市 ●S邸(夫婦+子ども3人)
- 本体価格(～1500万・1500～2000万・2000～2500万・2500万～・要問い合わせ)

奥様の話から、造り手と住み手が強い信頼関係で結ばれている様子がよく分かる。同社ではパッシブデザインを取り入れ、少ないエネルギーで暮らす生活スタイルを提案している。デザインはもちろん、どんな暮らし方をしたいかを真剣に議論し、これからの生活の舞台を作り上げていくそうだ。自然木の住まい手は、「自分たちの家を作った」という自信を持っている。この心地よい空間は、時間をかけた打ち合わせの結果生まれるようだ。

奥様の話から、造り手と住み手が強い信頼関係で結ばれている様子がよく分かる。同社ではパッシブデザインを取り入れ、少ないエネルギーで暮らす生活スタイルを提案している。デザインはもちろん、どんな暮らし方をしたいかを真剣に議論し、これからの生活の舞台を作り上げていくそうだ。自然木の住まい手は、「自分たちの家を作った」という自信を持っている。この心地よい空間は、時間をかけた打ち合わせの結果生まれるようだ。

住まい手との信頼関係を大切に 省エネを楽しむ舞台を提案

- こんな家が欲しかった
私たちが希望した3つのこと**
- 1 明るく気持ちいい家に**
以前の住宅が昼でも暗くて、それだけに立地を生かして、明るく風が抜ける家にしたかったんです。景観の見え方にもこだわった明るい家になりました。2階ベンチからの桜島が最高です
 - 2 和室には広めの縁側を設ける**
和室には広めの縁側をリクエスト。ふだんは降灰対応のサンルームとして使ったり、主人の書斎・趣味コーナー、子供の学習コーナーにもなる多目的室です
 - 3 夫婦それぞれの楽しみを採用**
趣味と実益を兼ねたくて、お菓子づくり専用のミニキッチンを造りました。庭には芝生を植えて、ゴルフのバター練習ができるように仕上げています

housing report **10**

■DATA..... 土地面積/524.02㎡(158.52坪)
 延床面積/120.73㎡(36.52坪)
 1階面積/90.40㎡(20.35坪)
 2階面積/30.33㎡(9.17坪)
 用途地域/市街化調整区域

■SCHEDULE 設計期間/約12か月
 建築期間/約6か月